環境経営レポート

2020 年度 活動報告（2020/1～2020/12）

株式会社 東興電機製作所

2021 年 2 月 1 日

内容

1.	はじめに	3
2.	組織の概要	4
3.	対象範囲	5
4.	環境方針	6
5.	環境管理組織図	7
6.	環境目標と実績	9
7.	環境活動計画・取組結果と評価	14
8.	活動内容の紹介	21
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	24
10.	外部からの苦情などの受付状況及び対応結果	25
11.	代表者による全体評価と見直しの結果	26

1. はじめに

株式会社東興電機製作所は 1963 年に創業し、製造部門（医療機器製造および放射線測定装置製造）と、IT に関する様々なサービスを提供する TOKODS（IT サービス部）から成り立ちます。2008 年新年の朝礼にて、今年は環境問題に社員全員が感心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこうという社長の挨拶から当社のエコ活動は始まりました。同年 6 月、取引先での会合で「エコアクション 21」の存在を知り、当社でも取得を目指して実際に動き始め、2009 年 4 月に認証取得し、現在もエコアクション 21 のシステムに基づいた継続的な環境保全活動につとめています。

2. 組織の概要

事業所名および代表者氏名

株式会社 東興電機製作所

代表取締役社長　坂 郷治

資本金

1,000 万円

設立

1963 年 6 月

所在地

三鷹本社 〒 180 0006 東京都武蔵野市中町 1 9 5 第一中央ビル 4 階

青梅工場 〒 198 0022 東京都青梅市藤橋 3 3 5

柏事業所 〒 277 0803 千葉県柏市小青田 5 12

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　川本 純子

TEL　0422 55 5055 （代表）

FAX　0422 55 5051

Email salesteam.japan@tokods.com

事業内容

青梅工場（製造部）：超音波診断装置プローブ製造、放射線測定装置製造・検査

柏事業所（製造部）：超音波診断装置プローブ製造

三鷹本社（IT サービス部）：開発製品評価・検証、ＷＥＢサイトユーザビリティコンサルティング、取扱説明書作成、技術文書翻訳

事業の規模

従業員数 54 名

敷地面積 三鷹本社： 86.1 ㎡ / 青梅工場： 1495.96 ㎡ / 柏事業所： 198.72 ㎡

3. 対象範囲

当社は全組織・全活動・全従業員を対象としています

4. 環境方針

株式会社東興電機製作所
環境経営方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、放射線測定装置の製造およびITに関する様々なサービスを提供している、環境負荷の低い事業所です。次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら、環境保全活動の取り組みを継続します。

(1) 製造工程、ITサービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組みます。

(2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。

(3) 製品不良率の削減、早期納品、およびIT技術の活用による業務効率化により、環境負荷の低減に取り組みます。

(4) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。

(5) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。

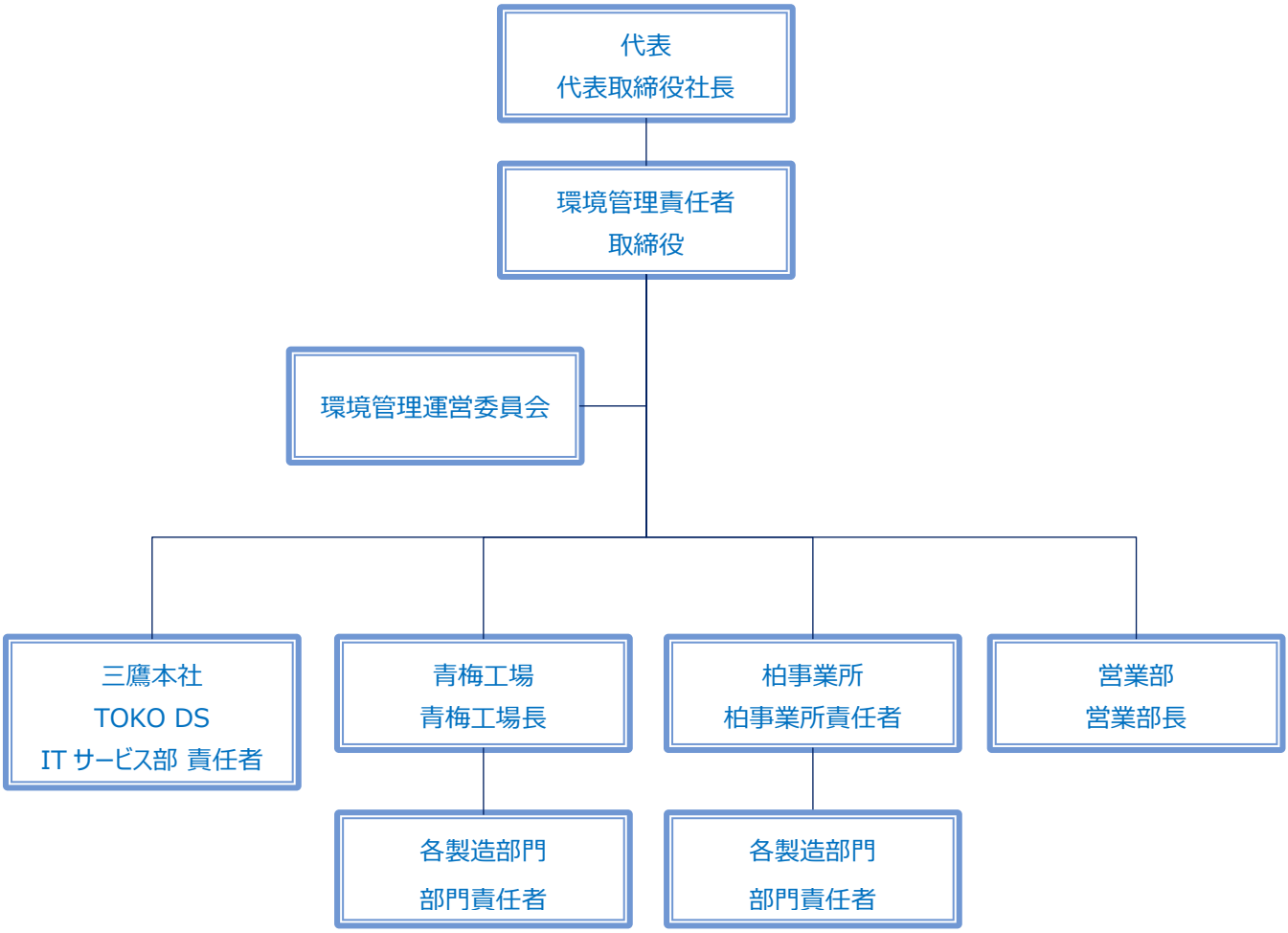
(6) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。

(7) グリーン購入に努めます。

令和２年３月31日

株式会社東興電機製作所
代表取締役社長　坂郷治

5. 環境管理組織図



役割、責任及び権限

代表	1	代表者
	2	環境方針を承認、周知する
	3	資源（人・もの・金）の決定権を有する
	4	定期的に EA21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
	5	環境管理責任者、環境運営委員等を任命する

環境管理責任者	1	EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、実績の向上をはかる
	2	上記 1 の結果を代表者へ報告する
	3	EA21 文書類の承認、決済を行う
	4	環境委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、実行推進を行う
	5	資源（人・もの・金）の承認を行う
	6	環境委員、部門代表を指名する
	7	社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録する
	8	その他、EMS の確立、実施、維持及び管理に関し必要な業務を行う
環境運営委員会	1	環境方針の作成、見直しを行う
	2	EMS の運用管理に必要な人的資源、技能等の準備を行う
	3	環境管理責任者を推薦し、EMS の確立、実施、維持等に関する業務及び、EMS の実績に関し本会議に報告する業務を行う
	4	環境への負荷の自己チェックを実施する
	5	環境への取り組みの自己チェックを実施する
	6	環境目標の設定及び環境活動計画の作成、見直しを行う
	7	環境経営の手順書の作成及び改訂を行う
	8	環境管理体制の整備を行う
	9	EMS の見直しを行う
	10	環境管理委員会の円滑な運営のための各部門内の連絡・調整をする

※EMS：環境マネジメントシステム

6. 環境目標と実績

TDS TOKO DS

㈱東興電機製作所
2020年度　環境経営目標および実績

計画作成日：2020年 8月 17日、実績記録日： 2021年 3月1日

作成	承認
環境運営委員 馬場 桂	環境管理責任者 川本純子

■目標と実績

本社　：　東京電力 H30 年度基礎排出係数　0.468
青梅工場　：　ミツウロコグリーンエネルギーH30 年度基礎排出係数　0.309
柏事業所　：　東京電力 H30 年度基礎排出係数　0.468　/　ミツウロコグリーンエネルギーH30 年度基礎排出係数

CO2 の総排出量（kg-CO2）は以下の通りです。

2018 年度	2019 年度	2020 年度
41,740.28 kg-CO2	48,688.37 kg-CO2	35,416.51 kg-CO2

生産原単位（従業員数当たり）の CO2 排出量は以下の通りです。

対象項目		目標	中長期目標（原単位実績）			実績（原単位実績）
			2018年度	2019年度	2020年度	2020年度
			従業員数：41人	従業員数：39人	従業員数：36人	従業員数：36人
1）環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進						
	CO2排出量の削減	基準年(2019年）実績に対し、現状維持	86.84 kg-CO2/人	104.87 kg-CO2/人	104.87 kg-CO2/人	80.49 kg-CO2/人
	CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	基準年(2019年）実績に対し、現状維持	129.47 kWh/人	162.05 kWh/人	162.05 kWh/人	161.05 kWh/人
	CO2排出量の削減 - ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	基準年(2019年）実績に対し、現状維持	4.78 L/人	3.53 L/人	3.53 L/人	2.81 L/人
	CO2排出量の削減 - 軽油使用量の削減	基準年(2019年）実績に対し、現状維持	5.78 L/人	9.52 L/人	9.52 L/人	7.47 L/人

TOKO DS

対象項目	目標	中長期目標			実績（原単位実績）
		2018年度 従業員数：41人	2020年度 従業員数：36人	2020年度 従業員数：36人	2020年度 従業員数：36人
2）廃棄物の削減及びリサイクルの推進					
- 廃棄物の排出量の削減 - 廃棄物の適正管理	廃棄物の排出量：基準年(2019年)排出量実績に対し、現状維持 廃棄物等の分別区分、分別の実施方式、保管場所の明確化・表示方法、マニフェストの管理	8.55 kg/人	12.49 kg/人	→ 12.49 kg/人	8.21 kg/人
3）水使用量の削減					
- 上水使用量の削減 ※三鷹本社は除く	基準年(2019年）排出量実績に対し、現状維持	0.35 ㎥/人	0.59 ㎥/人	→ 0.59 ㎥/人	0.61 ㎥/人
4）化学物質の適正管理					
- 化学物質の適正管理	適性管理、監視強化	・管理対象化学物質の使用量，保管量管理の継続 ・環境負荷物質調査依頼への対応 ・新しい化学物質使用の監視強化			・化学物質管理台帳の運用にて、適正使用量，保管料の把握の継続実施 ・改正フロン法による業務用空調設備・冷凍冷蔵機器の簡易点検を実施 ・顧客からの環境負荷物質調査への対応（本年度は、改正RoHS2.0指令，ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｵｸﾀﾝ酸- PFOA） ・本年度は、PRTR法に該当する量の化学物質の新規取り扱いなし

TOKO DS

対象項目	目標	中長期目標（原単位実績）			実績（原単位実績）
		2018年度	2019年度	2020年度	2020年度
		従業員数：41人	従業員数：39人	従業員数：36人	従業員数：36人
5）環境に関する取組の向上					
- 省エネ型の照明器具の導入	費用対効率に優れた機器の積極的な導入	・消費電力量の軽減を図るため照明をLEDに交換			LED照明等節電促進助成金を活用し、青梅工場の蛍光灯（100灯）をLED照明器具に改修（2021年1月に施工完了）
6）製品およびサービスへの環境配慮					
- 不良の削減 - ＩＴ技術の活用 - 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止	業務の効率化（不良の削減, IT技術の活用）および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	不良の削減 -不良出荷　部門　0件 -破損弁償　各製造部門　0件 IT技術の活用 -生産性の向上（間接部門） 帳票システム化による属人化の解消			**不良の削減** **2020 年度は不良が出荷が多発し、顧客から是正勧告が出てしまった。** **品質に関する再教育と、不適合情報を社内共有するための新プロセスを構築** **IT 技術の活用** **見積管理台帳等のシステム化を実施**

＊保管：環境運営委員会

TOKO DS

■中長期目標

対象項目		2020年度実績値	中長期目標		
			2021年	2022年度	2023年度
1）環境負荷の低減・省エネルギーの推進					
	CO2排出量の削減	80.49 kg-CO2/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
	CO2排出量の削減 ー電力使用量の削減	161.05 kWh/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
	CO2排出量の削減 ーガソリン使用量の削減	2.81 L/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
	CO2排出量の削減 ー軽油使用量の削減	7.47 L/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
2）廃棄物の削減及びリサイクルの推進					
	ー廃棄物の排出量の削減	8.21 kg/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
	ー廃棄物の適正管理		・廃棄物等の分別の徹底 ・分別の実施方式、保管場所の明確化 ・マニフェストの管理徹底		

対象項目	2020年度実績値	中長期目標		
		2021年	2022年度	2023年度
3）水使用量の削減				
ー上水使用量の削減 ※三鷹本社は除く	0.61 m3/人	基準年（2020年）実績に対し、現状維持	基準年（2021年）実績に対し、現状維持	基準年（2022年）実績に対し、現状維持
4）化学物質の適正管理				
ー化学物質の適正管理		・管理対象化学物質の使用量、保管量管理の継続 ・顧客からの環境負荷物質調査依頼への対応 ・新しい化学物質使用の監視強化		
5）製品およびサービスへの環境配慮				
ー不良の削減 ーIT技術の活用 ー環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止		業務の効率化および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底 ・不良の削減 -不良出荷　部門　0件 -破損弁償　各製造部門　0件 ・IT技術の活用 -生産性の向上（間接部門） 帳票システム化による属人化の解消		

7. 環境活動計画・取組結果と評価

TOKO DS

㈱東興電機製作所

2020年度　環境経営活動計画・取組結果と評価

計画作成日：2020年 8月 17日、実績記録日： 2021年 2月27日

作成	承認
環境運営委員 馬場 計	環境管理責任者 川本純子

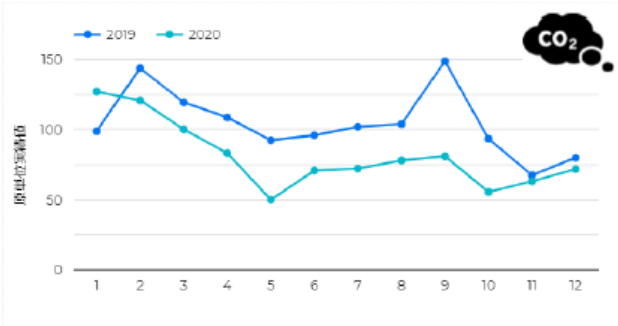
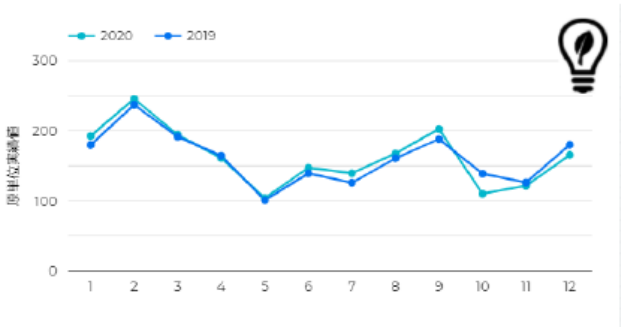
■取組内容

対象項目	取組内容	取組内容詳細	実施担当
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進			
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	不要照明の消灯	✔ 各部所において、不要箇所の頻繁な消灯(昼休みは消灯)	全従業員
	周辺機器の節電	✔ 長時間不使用時にはPCをｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞもしくは電源OFF	
		✔ 暖房便座は、夏期は電源を落とし使用後は蓋を閉める	
		✔ 電気ﾎﾟｯﾄの長時間の保温を避ける	
		✔ 冷蔵庫の温度調整は室温に合わせて調整する	
	室内温度調節の徹底（ｴｱｺﾝ）	✔ 冷房温度28℃±1℃、暖房温度20℃±1℃に設定、ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ、ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞを実行	
		✔ ｴｱｺﾝのﾌｨﾙﾀｰ清掃及び点検の実施	
		✔ 遮光ｽｸﾘｰﾝ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ及び窓の開閉で室温調整	
CO2排出量の削減 - ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減 - 軽油使用量の削減	車輌の点検整備の徹底	✔ 点検整備を適宜実施し、燃費を向上させる	車両使用者
	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの実践	✔ ｴｺ運転、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの励行	
		✔ 燃費効率の良い配送経路の検討	
		✔ 交通法規の順守、過積載の禁止	
	適切な資源の選択、設定	✔ 低燃費車（ｴｺｶｰ）の導入	
		✔ 公共交通機関での移動を心がける	

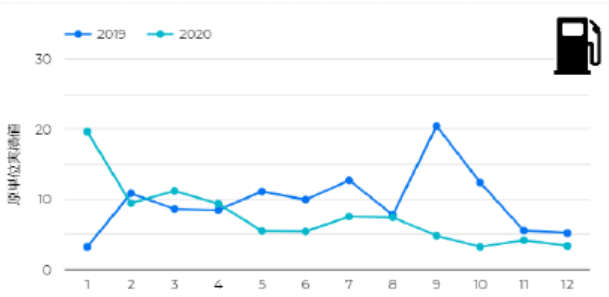
TOKO DS

対象項目	取組内容	取組内容詳細	実施担当
2）廃棄物の削減及びリサイクルの推進			
- 廃棄物の排出量の削減 - 廃棄物の適正管理	分別の徹底	✔ ｺﾞﾐの分別を徹底する	全従業員
	3R（ﾘﾃﾞｭｰｽ、ﾘﾕｰｽ、ﾘｻｲｸﾙ）の徹底	✔ 使用済みｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞは業者指定のﾘｻｲｸﾙ店に持っていく	
		✔ 部材の端材等の有効利用	
	紙資源の削減（ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ）	✔ 社内文書の電子化（電子ﾒｰﾙの活用）	
		✔ 両面印刷や集約印刷、省ｲﾝｸﾓｰﾄﾞでの印刷	
		✔ 社内文書の裏紙利用	
3）水使用量の削減			
- 上水使用量の削減	節水の徹底	✔ 各蛇口の節水、ﾙｰﾙの徹底	全従業員
	漏水点検の実施	✔ 蛇口等の水漏れ点検	
4）化学物質の管理			
- 化学物質の適正管理	適正使用量，保管料の把握を継続	✔ 化学物質管理台帳の運用，定期点検，記録にて継続管理	管理担当者
		✔ 施錠された保管庫による紛失，誤使用防止	
	環境負荷物質調査依頼への対応	✔ 顧客からの適合要求に対しての迅速な情報提供	品質管理室
	新しい化学物質使用の監視強化	✔ 該当物質について代替えなど検討および正しい届出がされているかの確認	
5）環境に関する取組の向上			
- 省ｴﾈ型の照明器具の導入	LED照明設備の導入	✔ 助成金を活用し、今年度中のLED照明設備の導入	環境管理責任者
6）製品およびサービスへの環境配慮			
- 不良の削減 - ＩＴ技術の活用 - 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止	業務の効率化（不良の削減, IT技術の活用）および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	✔不良記録の徹底、再発防止処置の徹底 ✔間接部門の作業効率化 帳票システム化による属人化の解消 **✔環境負荷物質の製品含有の削減、禁止の徹底**	全従業員

■取組結果と評価

対象項目	取組の実施状況	評価
1）環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進		
CO2排出量の削減		評価：年間を通じて削減された 影響要因：新型コロナ感染症の影響による受注減、休業
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減		評価：年間を通じて削減された 影響要因：気温、残業、コロナ感染症による時差出勤、コロナ感染症の予防対策のための換気

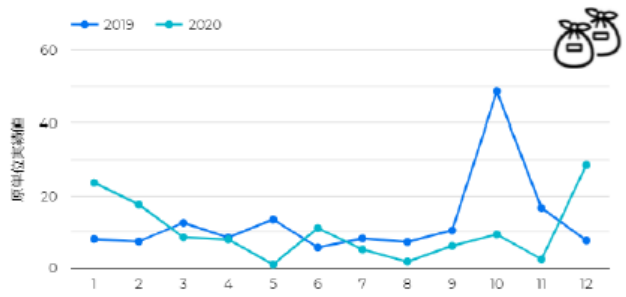
TOKO DS

対象項目	取組の実施状況	評価
CO2排出量の削減 - ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減		評価：年間を通じて削減された 影響要因：新型コロナ感染症の予防による、拠点間移動の減少
CO2排出量の削減 - 軽油使用量の削減		評価：年間の数値としては削減された 影響要因：新型コロナ感染症の影響による納品回数、拠点間移動の減少

TOKO DS

2）廃棄物の削減及びリサイクルの推進

- 廃棄物の排出量（t/人）の削減
- 廃棄物の適正管理

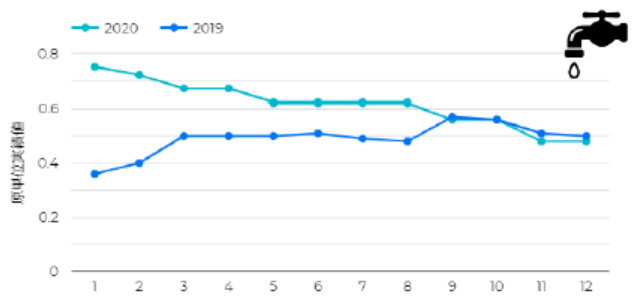


評価：年間の数値としては削減された

影響要因：2021年の青梅工場レイアウト変更に伴い、年末にかけての廃棄物の増加

3）水使用量の削減

- 上水使用量（㎥/人）の削減



評価：年間の数値としては微増した

影響要因：新型コロナ感染症の影響による手洗い回数の増加

TOKO DS

対象項目	取組の実施状況	評価
4）化学物質の適正管理		
- 化学物質の適正管理	・化学物質管理台帳の運用にて、適正使用量，保管量把握の継続 ・顧客からの環境負荷物質調査への対応（本年度は、改正RoHS2.0指令，ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｵｸﾀﾝ酸- PFOA） ・新しい化学物質使用の監視強化（本年度は、PRTR法に該当する量の化学物質の新規取り扱いなし）	・適正使用量，保管料の把握を継続実施し、紛失，誤使用どの事故は0件だった。 ・顧客からの環境負荷物質調査に対し、社内で体制を構築し迅速に対応した。 ・社内で調達基準を策定し監視を実施し、PRTR法に該当する量の化学物質の新規取り扱いはなかった。
5）環境に関する取組の向上		
- 省ｴﾈ型の照明器具の導入	・2021年1月LED照明機器への切替工事を実施	LED導入後、電気使用量の削減が期待される
6）製品およびサービスへの環境配慮		
- 不良の削減 - ＩＴ技術の活用 - 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止	・不良記録の徹底、再発防止処置の徹底 ・間接部門の作業効率化 帳票システム化による属人化の解消 **・環境負荷物質の製品含有の削減、禁止の徹底**	**・2020 年度は不良が出荷が多発し、顧客から是正勧告が出てしまった。品質に関する再教育と、不適合情報を社内共有するための新プロセスを構築した。 ・見積管理台帳等のシステム化を実現した。 ・RoHS10（改正 RoHS 指令）と、PFOA（欧州 REACH 規則）に完全対応した。**

＊保管：環境運営委員会

TOKO DS

㈱東興電機製作所

2020年度　環境教育・訓練計画および実績

計画作成日：2020年 12月 27日、実績記録日： 2021年 2月13日

作成	承認
環境運営委員 馬場 桂	環境管理責任者 川本純子

■教育・訓練計画 / 実績

種類	対象者	目的	内容	頻度	責任者	講師	2020年度スケジュール 01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	備考
一般教育	全従業員	一般的な環境に対する自覚を高める	環境方針，環境目標、環境活動計画の徹底を図る	同上	環境管理責任者	環境管理責任者、環境運営委員会委員	○ ● 1/10	○ ● 2/4	○ ● 3/3	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	○ × 中止	年始全体ミーティング（朝礼）、毎月初の全体会議時に実施 ※今年度は新型コロナ感染症の予防対策により4月以降中止
	部門責任者	環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	EA21の内容、環境問題の現状、環境経営の必要性	1 回 ／ 年以上	同上	環境管理責任者、環境運営委員会委員	○ ● 1/10								○ ● 9/3				幹部MTGにて実施
専門教育	全従業員	緊急事態発生時に適切に対応する	消防法に基づく防災訓練	同上	同上	外部講師										○ × 中止			消防法に基づく防災訓練 ※今年度は新型コロナ感染症予防対策により中止
	緊急事態の対応者	緊急事態発生時に適切に対応する	緊急時の対応手順書に基づく訓練 キャリアメールによる一斉配信	同上	同上	実施責任者										○ × 中止			手順の適切性，有効性を確認する ※メール配信にいくつかの対策を講じたが、有効な手法が見つからなかったため、今年度は中止とした

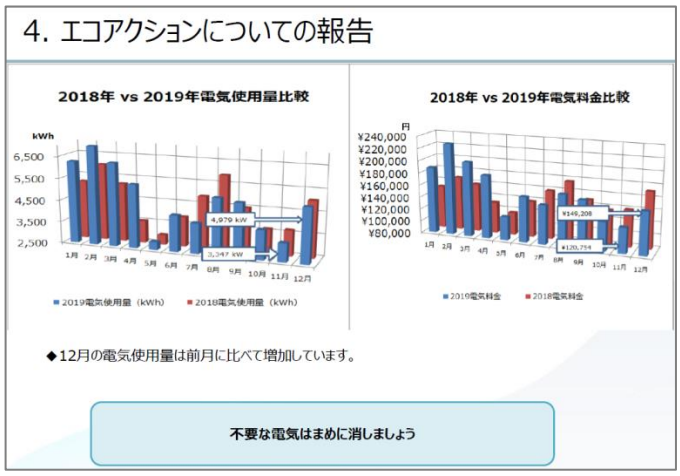
＊保管：環境運営委員会　　計画：○　　実績：●

8.　活動内容の紹介

内部コミュニケーション

201901_全体ミーティング資料 eco の紹介

・電気使用量, 軽油使用量, ガソリン使用量, 焼却ゴミ、廃棄物量



化学物質管理 FAQ（社内 FAQ サイト）の導入

https://tayori.com/faq/9018c50b671f2717594d9bc79e3fbaaa34164dcf

以前は都度問い合わせで対応していましたが、同じような内容の質問には FAQ のナレッジ蓄積を進め、従業員自身で FAQ にて解決できるようにしました。

外部コミュニケーション

企業 Web サイト（環境活動）

当社内で製造時に調達する部材や資材、その他物品について、RoHS 指令で規制されている物質の使用状況・含有量調査を常時行っており、改正 RoHS（RoHS2）指令への対応状況についても掲載しています。

例）改正 RoHS（RoHS2）指令への対応についての取り組み紹介（東興電機 Web サイトにも同コンテンツ作成予定）

https://www.achiseiki.co.jp/rohs/

事業継続計画（BCP）の維持・管理

事業継続計画（BCP）の見直しを実施し、新型コロナウィルス感染症対策について追記

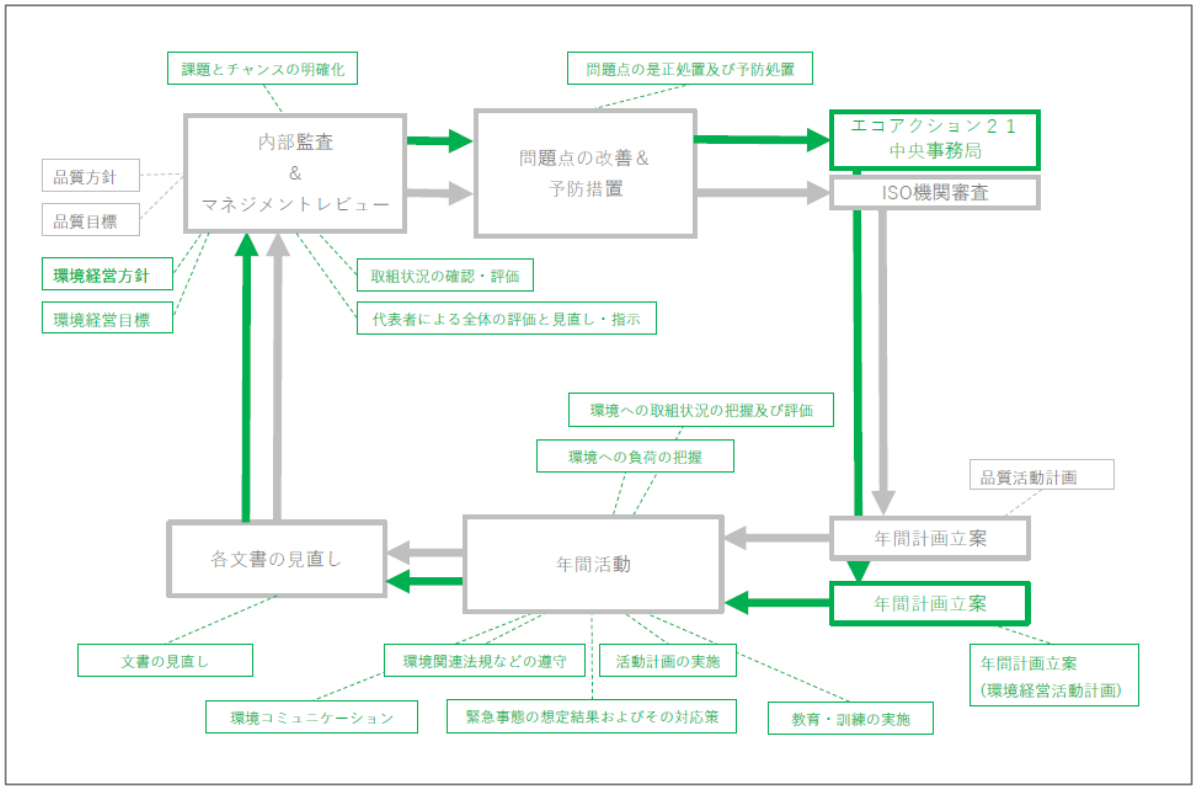
1. 新型コロナウィルス感染症対策チーム（CV19 対策チーム）の発足
2. 感染者発生時の患者、濃厚接触者への対応プロセス
3. 事業継続のための情報共有体制
4. 事業継続のための人員体制を検討・整備
5. 従業員の確保状況に応じて、生産・業務の事業規模について検討し、継続体制を整備
6. 事業を継続するために必要となる物的資源（マスク、使い捨て手袋、消毒液）の確保

マイボトル運動

資源節約への協力, 会社から全従業員にスターバックスコーヒー社の配布

ISO（QMS）との統合化

EMS 運用を見直し、QMS との統合化を進めております。



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

- 法律 -

環境基本法

循環型社会形成推進基本法

RoHS 指令

改正 RoHS 指令

REACH 規制

PFOS / PFOA 規制

下水道法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

道路運送車両法

消防法

労働安全衛生法電離放射線障害防止規則

労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則

グリーン購入法

フロン排出抑制法

- 条例 -

【東京都】

東京都健康と安全を確保する環境に関する条例（東京都環境確保条例等）

【武蔵野市】

武蔵野市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【青梅市】

青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【千葉県】

千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例

10. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

2020 年度、外部からの苦情はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度より、かねてよりの課題であった排出量の原単位による評価を開始した。
2020 年度は全社の CO2 排出量が昨年より大幅に削減され、当初の数値目標は達成することができた。
青梅工場の照明の LED 化についても 2021 年 1 月に実施し、来年度からの電力使用量のさらなる削減が期待できる。
しかし、今年度の排出量の削減には新型コロナ感染症の影響による受注の減少、休業の実施などの影響も考えられ、次年度に向けてはさらに気を引き締めて取り組む必要がある。
社員教育については、新型コロナ感染予防対策により、計画していた防災訓練や、毎月行っていた全体会議を開催することができなかった。今後は会議の開催ができない場合でも、毎月の実績値を各事業所に掲示するなどし、社員の意識を高めていく対策を講じる必要がある。
今年度は大きな製品不良を出してしまったが、全社員の品質に関する意識を向上させるため、不良に関する情報を全社員で共有するシステムを整備した。
次年度も環境負荷の削減に向け、全社員で目標への取り組みを継続していきたい。